

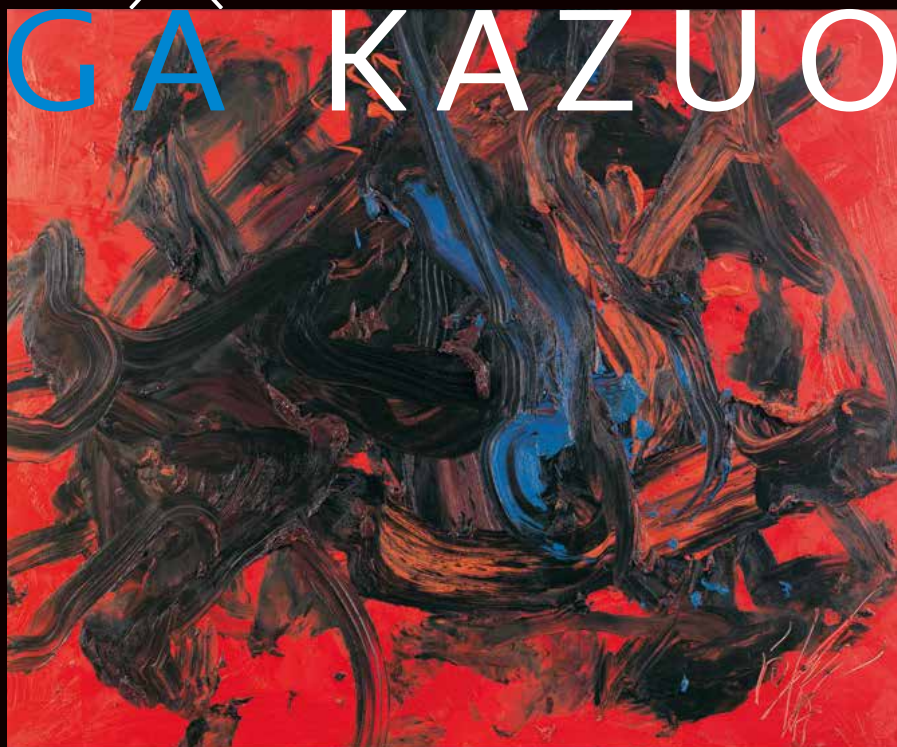


白髮一雄 × 須田剋太

二人の曼陀羅

SUDA KOKUTA

SHIRAGA KAZUO



2021
11.27 [土]



2022
1.10 [月・祝]

10:00~17:00(入館は16:30まで)

※火曜日、12/27(月)~1/4(火)は年末年始休館。

尼崎市総合文化センター
美術ホール5階

入場料

一般 800円 シニア(65歳以上) 700円 大学生 700円 高校生以下無料

※障がい者手帳等をお持ちの方は半額、その介助者の方1名は無料。

※本展の入場券で白髮一雄記念室もご観覧いただけます。

主催 公益財団法人尼崎市文化振興財団、産経新聞社
後援 尼崎市、尼崎市教育委員会、兵庫県、兵庫県教育委員会
協力 大阪府立江之子島文化芸術創造センター

お問合せ先/公益財団法人尼崎市文化振興財団 事業課美術担当
〒660-0881 尼崎市昭和通2-7-16 Tel.06-6487-0806

上:須田剋太《作品1967》1967年 個人蔵 下:白髮一雄《うすさま》1999年 個人蔵



須田剋太《作品》1963年 大阪府20世紀美術コレクション



須田剋太《神戸散歩 神戸トアロード帽子店》大阪府20世紀美術コレクション



須田剋太《白い花》制作年不詳 個人蔵



須田剋太《仏頭》制作年不詳 個人蔵



須田剋太《生命根源》1984年 個人蔵

本展は、尼崎市出身の画家・白髪一雄(1924-2008)と関連する画家を取り上げ、尼崎市の白髪一雄コレクションと合わせて紹介する初の試みとして、令和2年に没後30年を迎えて再び注目される須田剋太(1906-1990)を紹介するものです。

須田は埼玉県吹上町(現・鴻巣市)に生まれ、旧制中学を卒業後に浦和市(現・さいたま市)に出て独学で油画を学び、光風会、文展、新文展など戦前から戦後にかけて官展で活躍しました。戦後は関西に移り住み、長谷川三郎との出会いにより力強く、造形性豊かな抽象画を描き、世界の現代美術の動向の中で高い評価を得ました。また、1971年から「街道をゆく」(司馬遼太郎著・朝日新聞出版)シリーズの挿絵を、1990年に亡くなるまで担当するとともに、再び具象画を描きはじめ、書においても独創的な作品を残しました。

白髪は尼崎市に生まれ、京都市立絵画専門学校(現・京都市立芸術大学)に進学して日本画を学びました。卒業後は洋画に転向して風景や人物画を描き始めましたが、天井から吊るしたロープにつかまり、床に広げたキャンパスの上に絵具を置いて縦横無尽に素足で描くフット・ペインティングという独自の描画法による抽象画を生み出し、国際的に高い評価を得ました。また、1960年代後半に仏教に関心を抱きはじめ、比叡山延暦寺で得度し(法名:白髪素道)、1974年に修行を行いました。その頃から密教をテーマとした作品も多数描いています。

須田は国画会、白髪は具体美術協会を拠点としていましたが、1950年代の関西の現代美術界ではゲンビ展などとともに出品し、50~60年代に日本の現代美術が国際的な美術展で紹介される際に、二人は日本を代表する抽象画家として選出され、活躍の場を広げました。

本展では、大阪府20世紀美術コレクションの須田作品と、尼崎市所蔵の白髪作品を中心に、「抽象と具象」「仏教」「書」の3つのテーマを軸に約80点の作品を紹介します。

関連イベント

ギャラリートーク

本展監修者の中塚宏行氏(キュレーター・美術評論家)と担当学芸員による展示作品の解説を行います。

[日 時] 11月27日(土) 11:00~ / 12月11日(土) 11:00~

[場 所] 尼崎市総合文化センター美術ホール 5階

[定 員] 各日20名

[申込み] 不要

[参加費] 無料(本展のチケットが必要です。)



白髪一雄《大威徳尊》1973年 尼崎市蔵



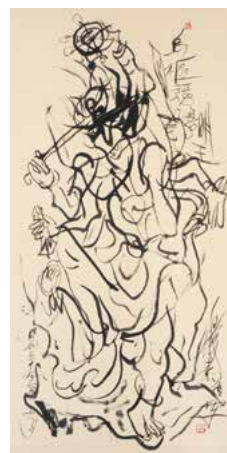
白髪一雄《大阪難波橋》1947年 尼崎市蔵



白髪一雄《鳥籠》1949年 尼崎市蔵



白髪一雄《流派1》1953年 尼崎市蔵



白髪一雄《鳥籠器摩明王》1984年 個人蔵

同時開催

白髪一雄記念室 第18回展示

SHIRAGA × ALMOSTBLACK

2021年10月23日(土)~2022年3月21日(月・祝)

白髪一雄と、若い頃の一時期にアーティストとして活躍した妻・白髪富士子(1928-2015)の作品にインスパイアされたメンズファッションブランドALMOSTBLACKのデザイナー・中嶋峻太氏が手がけた、2021年秋冬コレクション「A-Un / 阿吽」の一部を、白髪夫妻の作品とともに展示します。

[休館日] 毎週火曜日、年末年始(12/27~1/4)

ただし、11/23(火・祝)は開館、11/24(水)は休館。

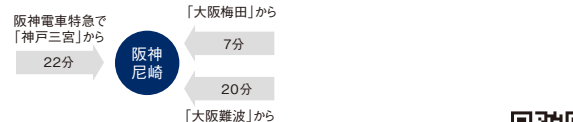
[会場] 尼崎市総合文化センター 4階 白髪一雄記念室

ご来場の皆様へ

ご入館の際はマスクの着用と手指の消毒など、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにご協力をお願いします。



- 阪神尼崎駅より立体遊歩道で徒歩約5分(国道2号線沿い)
- JR尼崎駅より阪神バス駅南側4番のりば②→阪神尼崎行「尼崎総合文化センター」下車
- 阪急塚口駅より阪神バス⑧→「昭和通」下車阪急バス⑧→「尼崎総合文化センター」下車
※阪神バスは尼崎市内線
- 有料駐車場あり(30分200円/1日最大900円・普通車)



尼崎市総合文化センター www.archaic.or.jp

